

本講義資料のご利用にあたって

本講義資料内には、東京大学が第三者より許諾を得て利用している画像等や、各種ライセンスによって提供されている画像等が含まれています。個々の画像等の利用については、それぞれの権利者の定めるところに従ってください。

著作権が東京大学の教員等に帰属する著作物については、非営利かつ教育的な目的に限り複製および再配布することができます。

ご利用にあたっては、以下のクレジットを明記してください。

クレジット：

UTokyo Online Education 学術フロンティア講義 2025S 牧原 出



オーラル・ヒストリーから見る 日本政治の流れ

政党・政策・制度

先端科学技術研究センター
牧原 出

構成

- (1) オーラル・ヒストリーと「語りの流れ」
- (2) その応用としての「官邸の作り方」
- (3) 制度は動く、流れる

著作

権力移行

何か政治を安定させるのか

牧原出

Makiharu Ibara



NHK Books

1200円

NHK出版

牧原出『権力移行 何か政治を安定させるのか』
NHK出版 (2013)

「安倍一強」の謎

牧原出

Makiharu Ibara



牧原出『「安倍一強」の謎』
朝日新聞出版 (2016)

崩れる政治を立て直す

21世紀の日本行政改革論

牧原出



適正な人事と
政策論争の透明化が
日本を救う！

気鋭の政治学者が「政治腐敗」を鋭く解析！

講談社現代新書

牧原出『崩れる政治を立て直す
21世紀の日本行政改革論』
講談社現代新書 (2018)

牧原出著

田中耕太郎

—闘う司法の確立者、
世界法の探究者



牧原出『田中耕太郎
—闘う司法の確立者、世界法の探究者』
中公新書 (2022)

内閣政治と 「大蔵省支配」

政治主導の条件

牧原出



中公叢書

牧原出『内閣政治と「大蔵省支配」』
中公叢書 (2003)

行政改革と 調整のシステム

牧原出一著

牧原出『行政改革と調整の
システム』
東京大学出版会 (2009)

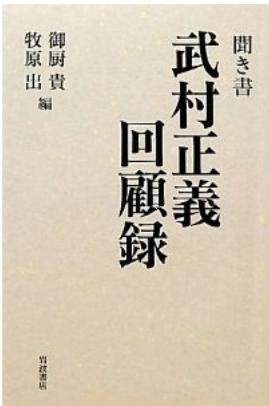


御厨貴 牧原出
『日本政治外交史（改訂版）』
放送大学教育振興会 (2013)



御厨貴 牧原出
『日本政治史講義 通史と対話』
有斐閣 (2021)

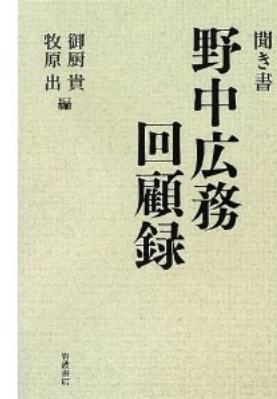
オーラル・ヒストリー



御厨貴 牧原出 『武村正義回顧録』
岩波書店 (2011)



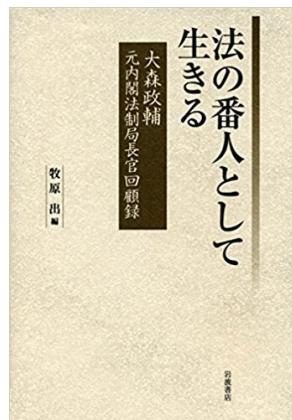
谷福丸 赤坂幸一 奈良岡聰智
牧原出 『議会政治と55年体制』
信山社 (2012)



御厨貴 牧原出 『野中広務回顧録』
岩波書店 (2012)



御厨貴 牧原出 『野中広務回顧録』
岩波現代文庫 岩波書店 (2018)



牧原出 『法の番人として生きる
大森政輔元内閣法務局長官回顧録』
岩波書店 (2018)



後藤田正晴 『情と理
後藤田正晴回顧録上』 講談社 (1998)



鈴木俊一 『官を生きる 鈴木俊一回顧録』
都市出版社

その他報告書出版形式では多数発表

2020年代以降の新展開へ



牧原出『「2030年日本」のストーリー
武器としての社会科学・歴史・イベント』
東洋経済新報社 (2023)



牧原出／坂上博『きしむ 政治と科学』
中央公論新社 (2023)



PHP「内閣政治」研究会
『官邸の作り方—政治主導時代の政権運営—研究報告』
政策シンクタンクPHP総研 (2024)

1. オーラル・ヒストリーと 「語りの流れ」

■ オーラル・ヒストリーとは何か？

- ・語りを記録にとり、広く史料とする歴史研究の手法
- ・語りでしか現れない領域を対象とすると有効
- ・文字のない社会、記録をとらない庶民など
- ・政治家、官僚、経営者、文化人など公人ではどうか？

公人へのオーラル・ヒストリー

▶ 事実の確定よりは、どのように課題を処理したかが見える



大槌町震災アーカイブ

▶ 東日本大震災復興構想会議へのオーラル・ヒストリーによる分析

政治学者の議長・議長代理・検討部会長の「3人委員会」が主導

検討部会の資料公開がないためオーラル・ヒストリーで再現

知事に対応する総務省出身の官房副長官

事務局長の財務省出身者が予算対応

首相はほとんど対応せず

野党は個々の地域へのインフラ整備にのみ関心



Yasu, CC BY-SA 3.0,
via Wikimedia Commons

角川まんが学習シリーズ
『日本の歴史16』



著作権の都合により
画像を削除しました。

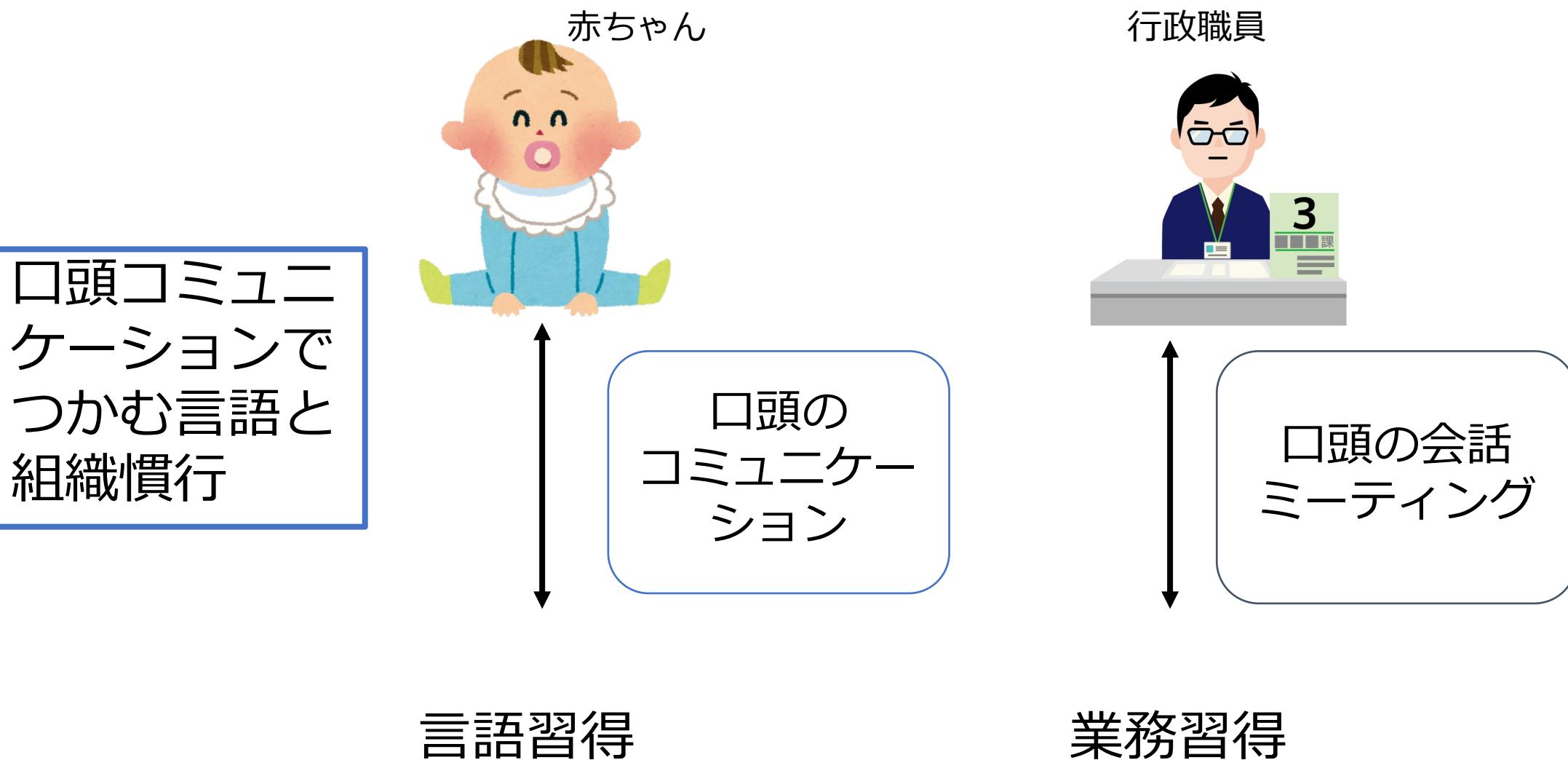
牧原 出「政治主導のもとでの専門知としての政治学の役割——東日本大震災復興構想会議をめぐって——」『立命館法学』第399・400号、2022年

書かれた資料以上の意義は何か？

オーラル・コミュニケーションの重要性

- 基本的な事務処理→問題発生への対応が話題の焦点
- 未到達の課題の認識、さしあたりの改革案作成についての認識も見えてくる
- 本来の目的と未到達の現状との落差が露呈

言語習得と業務習得のアナロジー



言語運用の理論のアナロジー

- ◎ チョムスキーの生成文法における言語能力／言語運用
→ 作動学における制度は「生成制度」と言えないか？
生成制度における制度能力／制度運用



午前九時半出勤。局長の命により十時總理大臣官邸に農商務大臣を訪ひ、昨日閣議に上程の筈なりし露領漁業共同管理の成行及目下露領水産組合に会合中の評議員等を尙其の儘引き留むべきや否やに付き指揮を乞ふ。其結果大臣に誤解あり、昨日は閣議に上程せられざりしことを知る。依つて大臣よりの希望もあり局長と相談の上、更に通商局長を訪問意見を交換し、其の結果は水産局長より山本大臣に伝達せられ、且つ指揮を乞はれしに依然閣議案を主張すべき旨決定せられしを以て再び通商局長を訪ひ其の旨通知する積りなりしに生憎不在なりし故、帰庁し電話にて鈴木領事を経て通知す。

（「木戸幸一日記」1921年1月21日、写真は『木戸幸一日記 上巻』東京大学出版会より）

オーラル・ヒストリーの基本的方法

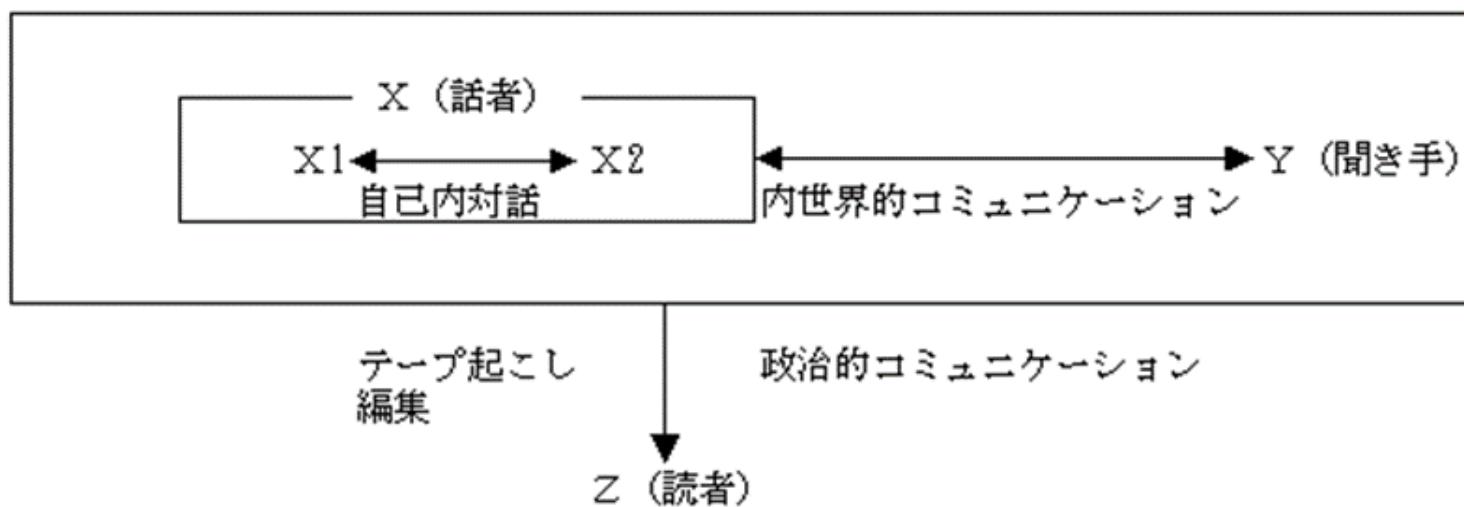
- 人物の設定と依頼
- 事前準備

質問チームの組織（4名くらいからで世代を超えた構成がよい、毎回出席できることが要件）
質問票作成、関係資料の渉猟と整理
事前に送付
- 当日の進行

概ね月1回の頻度、2時間ほどが多い
録音（録画もあり得る）
記録作成者の同席
ハイブリッドもあり得る
質問票に沿った進行、反応を見ながら適宜修正
- 終了後の記録作成
- 記録チェック

オーラル・ヒストリーのコミュニケーション

図2 オーラル・ヒストリーのコミュニケーション



オーラル・ヒストリーの諸相

（1）武村正義氏への聞き取りの実績

- ・全17回
- ・実施時期は2008年6月26日～2010年2月3日、2010年9月2日
- ・公刊は国政時代→武村氏のその後の対応

（2）野中広務氏への聞き取りの実績

- ・全13回
- ・実施時期は2008年6月13日～2010年10月21日

（3）2010～2012年の「民営化」の政治史プロジェクト

- ・片桐幸雄（日本道路公団） 全12回
- ・黒野匡彦（運輸省） 全14回
- ・有識者 全2回

2013年以降のオーラル・ヒストリー

- 藤井裕久：全34回
- 内閣府関係の官僚：全39回
- 西尾勝（地方分権改革の有識者）：全32回
- 京都議定書に対応した経済界「自主行動計画」策定過程のオーラル・ヒストリー
 - 重要人物につき各1回
 - 派生的なライフヒストリー型オーラル・ヒストリー全9回
- 商工省・通産省・経産省オーラル
 - 豊田正和（経済産業審議官）：全13回
 - 北村俊昭（経済産業審議官）：全8回
- 理系研究者
 - 菅裕明（東京大学大学院理学研究科教授）：全9回
 - 廣瀬通隆（東京大学大学院工学研究科教授）：全10回
- 独立機関委員：32回でまだ進行中
- 旧自治省関係者：2名終了 1名進行中
- 自民党総裁経験者：全19回

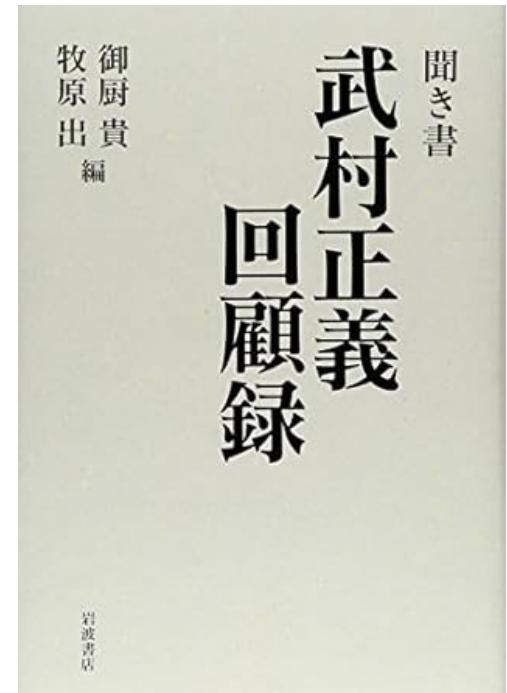
武村正義オーラル・ヒストリーの場合

各回の概要

回	概要
1	出生から自治省入省
2	八日市市長から滋賀県知事選
3	滋賀県知事1期目 財政再建
4	滋賀県知事2期目 有リン合成洗剤規制条例制定
5	滋賀県知事3期目から衆議院議員への転身
6	衆議院議員1期目 安倍派入会 ユートピア政治研究会
7	政治改革
8	衆議院議員2期目 金丸訪朝団
9	自民党離党 さきがけ結成 細川連立内閣成立
10	細川内閣
11	細川内閣総辞職 羽田内閣 村山内閣成立
12	村山内閣 大蔵大臣就任
13	村山内閣 金融危機
14	村山内閣 参院選 村山談話 タヒチ核実験抗議
15	村山内閣 住専処理 村山内閣総辞職 初の小選挙区選挙とさきがけの解体
16	まとめ



「ムーミン・ハウスの窓から
武村正義著作集」
中央公論事業出版 (2016)



御厨貴 牧原出『武村正義回顧録』
岩波書店 (2011)

2010年代以降のオーラル・ヒストリーの特徴

- ・長大化
- ・電子化の影響
- ・震災とオーラル・ヒストリーのデジタル・アーカイブ
- ・記憶の粗密の意味
- ・時間の順序と記録の意味
- ・記録公開のチェックポイントが増える
- ・コロナ禍でも聞き取る機会は増えた、その後も継続発展中

研究者オーラル・ヒストリー

- ・西尾勝名誉教授（行政学、法学政治学研究科）の場合



- ・菅裕明教授（化学、理学研究科）の場合



- ・廣瀬通孝教授（VR、工学研究科）の場合

- ※佐々木毅（政治学、元東大総長）の場合

書かれた文書とオーラルヒストリーの質的差異

公文書：書かれた文書→読む（解釈）→書く（論文執筆）

オーラル・ヒストリー：話された言葉→聞く→書く（文字に記録する）→読む（解釈）→書く（論文執筆）

読む／書く

話す／聞く／読む／書く

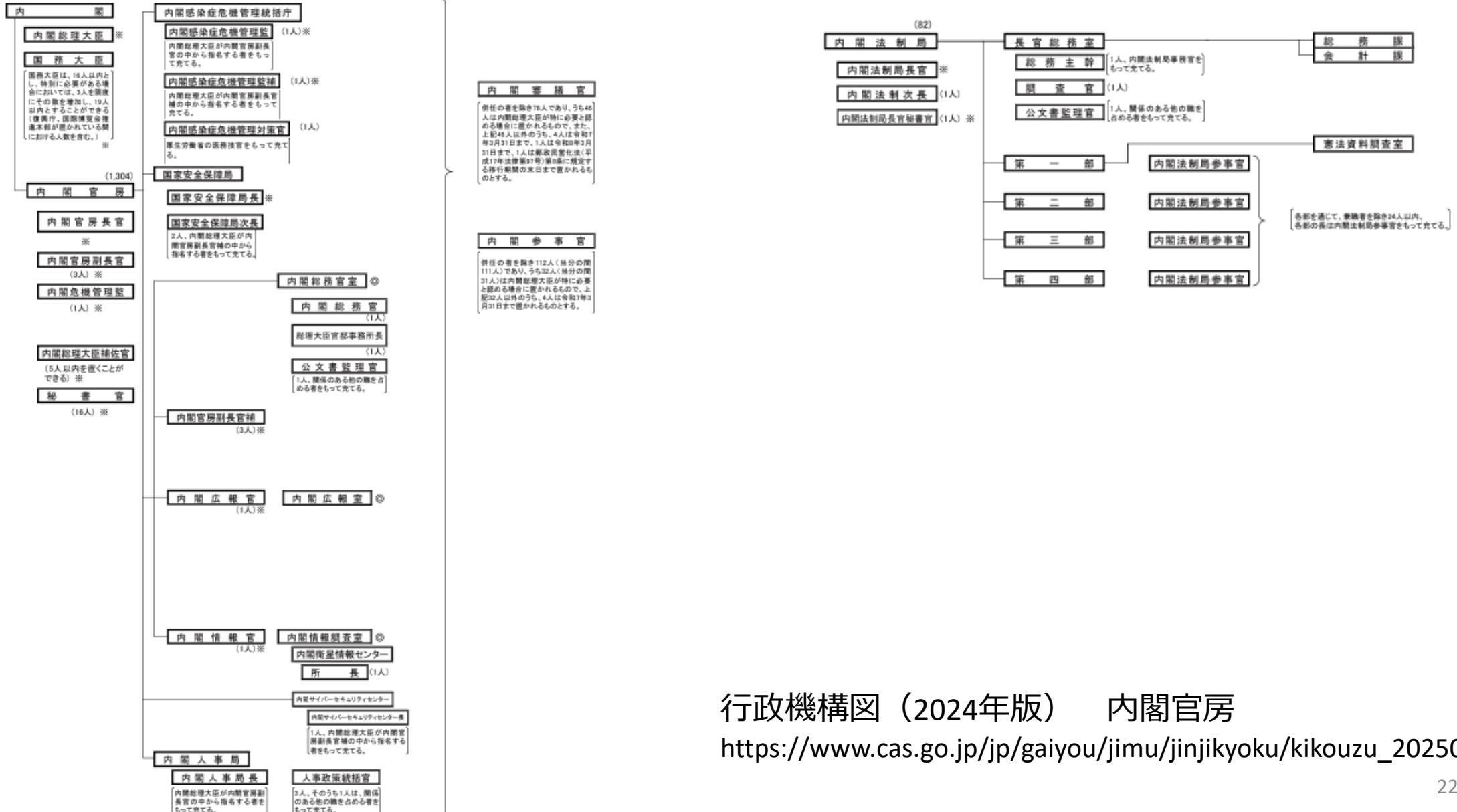
応用例) 日記（書かれた言葉）を声を出して読む→聞く→書く（文字に記録する）→読む（解釈）

2. 応用としての「官邸の作り方」



首相官邸ホームページ <https://www.kantei.go.jp/jp/guide/guide04.html>

内閣



内閣官房 = 官邸の特徴

➤ 非階級型

各省からの出向者の相互信頼
はずれる官僚も必ず存在

➤ ポストの本来業務と配置された特定の人物に割り当てられた業務

割り当ての基準は首相・官房長官、官房副長官などの意向、他の官僚とのバランス
秘書官集団の位置
官房副長官のネットワーク
重要ポストが必ずしも知られていない

➤ 作動が見えにくい

案件ごとの作動がある
長期政権であれば、こうした作動にもいくつかの型が形成される
こうした作動が見えることが「官邸官僚」の条件

研究蓄積がきわめて重要：オーラル・ヒストリーの解釈 能力は必須

①佐藤榮作内閣時代

楠田實日記、回顧録、関係文書

『本野盛幸オーラル・ヒストリー』

境光秀『郵一君物語』

④中曾根康弘内閣時代

中曾根康弘関係資料、日記

富田メモ

後藤田正晴オーラル・ヒストリー

⑤1990年代以降

石原信雄オーラル・ヒストリー（原文）

地球温暖化対策京都議定書オーラル

首相秘書官

工藤敦夫オーラル・ヒストリー

大森政輔オーラル・ヒストリー

②田中角栄内閣・三木武夫内閣時代

『吉國一郎オーラル・ヒストリー』

③大平正芳内閣・鈴木善幸内閣時代

宮澤喜一日録

岸信介日記

⑥2000年代以降

震災復興官邸関係者オーラル・ヒストリー

不祥事記録：森友・加計学園問題、放送法
改正問題

報告書『官邸の作り方』をめぐって



PHP「内閣政治」研究会
『官邸の作り方—政治主導時代の政権運営—研究報告』
政策シンクタンクPHP総研 (2024)



Power with purpose: final report of the Commission on the
Centre of Government
Institute for Government (2024)
<https://apo.org.au/node/326001>

分析方法

▶これまでの記録を精査分析

元職員の場合は2次資料として有益

ジャーナリストなどの場合は警戒しつつ分析

共通する戦術を抽出

オーラル・ヒストリーの重要性

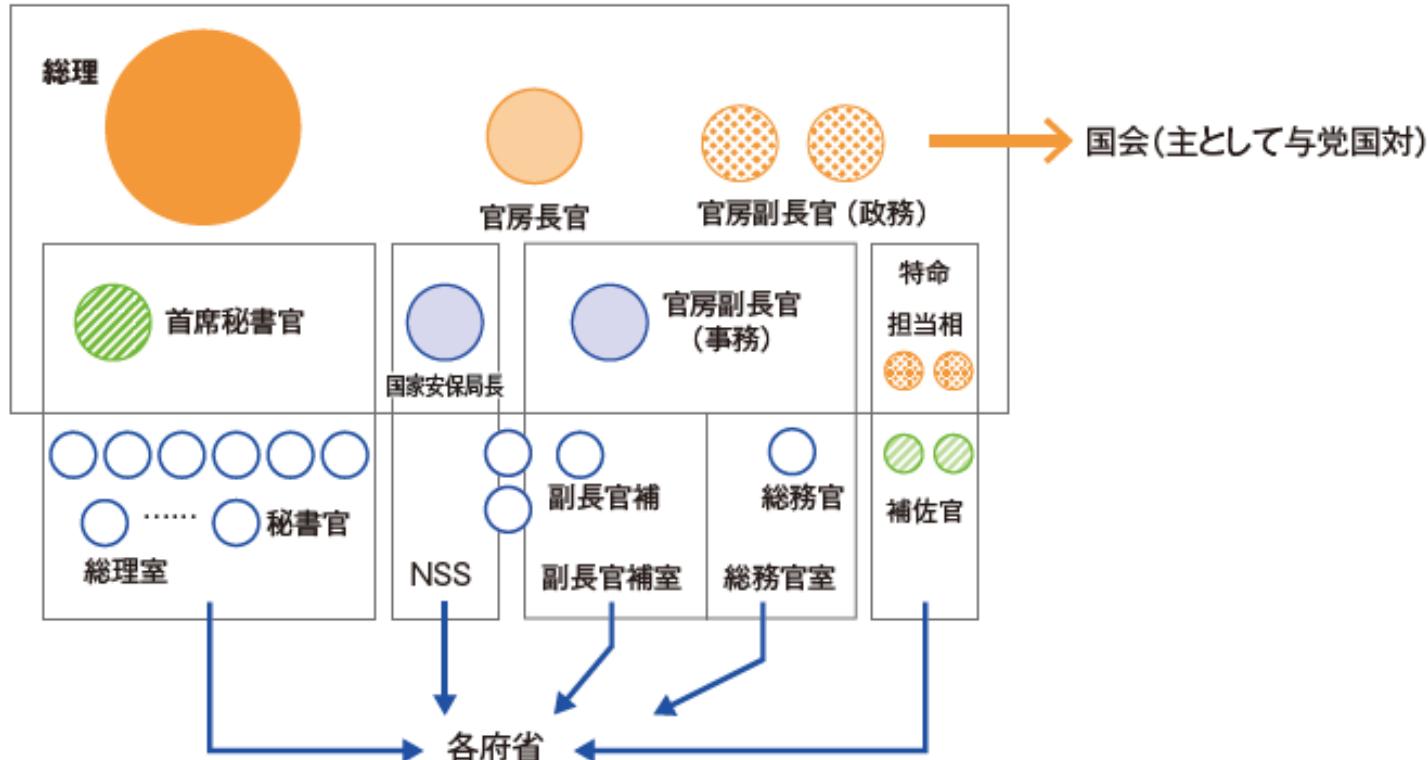
▶その上で第2次安倍政権の官邸官僚に詳細に聞き取り

ポストから見える全体像を少しづつ重ね書き

過去のオーラル・ヒストリーの分析方法をもとに
官邸官僚への聞き取りというオーラル・ヒストリーの実践

制度的特徴

図5 コア・エグゼクティブの概要



※本図はミニマムスペックにおいて特に必要と思われるところを簡略な概念図として書き出したものである。

出所：PHP 総研作成

PHP「内閣政治」研究会
『官邸の作り方—政治主導時代の政権運営—研究報告』
政策シンクタンクPHP総研 (2024)

制度的特徵

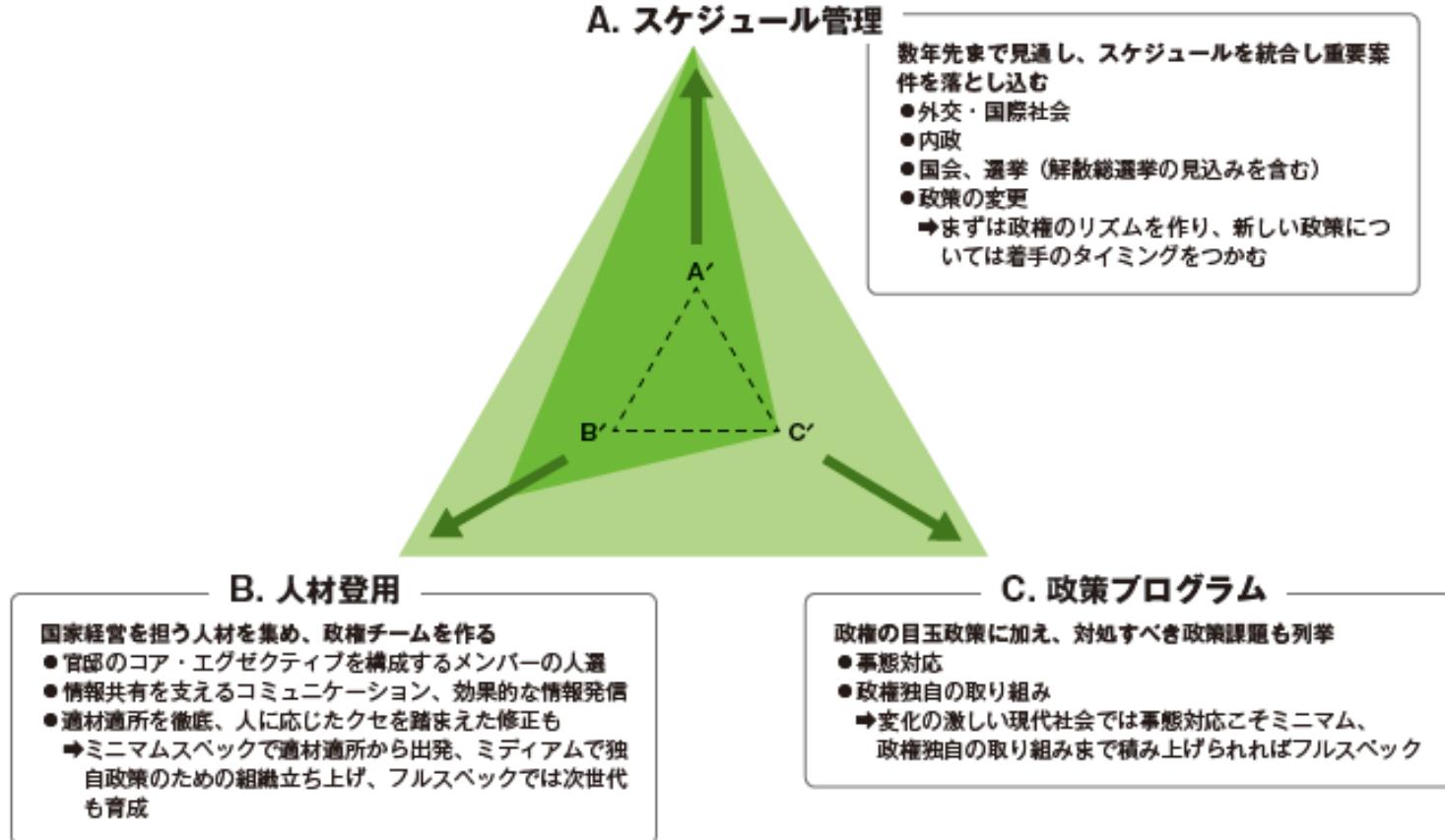
- 首相秘書官
- 官房長官
- 官房長官秘書官
- 官房副長官（事務）／（政務）
- 官房副長官補：内政、外交、安全保障
- 総務官
- 国家安全保障局長

■ 職務分担の特質

- 有効に対処するポストと担当者に責任が集まる
- 事項の重要性が縮小すればその担当者の業務も縮小
- 出向元の組織文化がそれぞれの担当者の行動様式を規定する
- 官邸官僚間の信頼感が生まれるかどうか？

政権発足にむけた3つの作業とその優先順位

図3 政権の骨格の構築における3つの柱

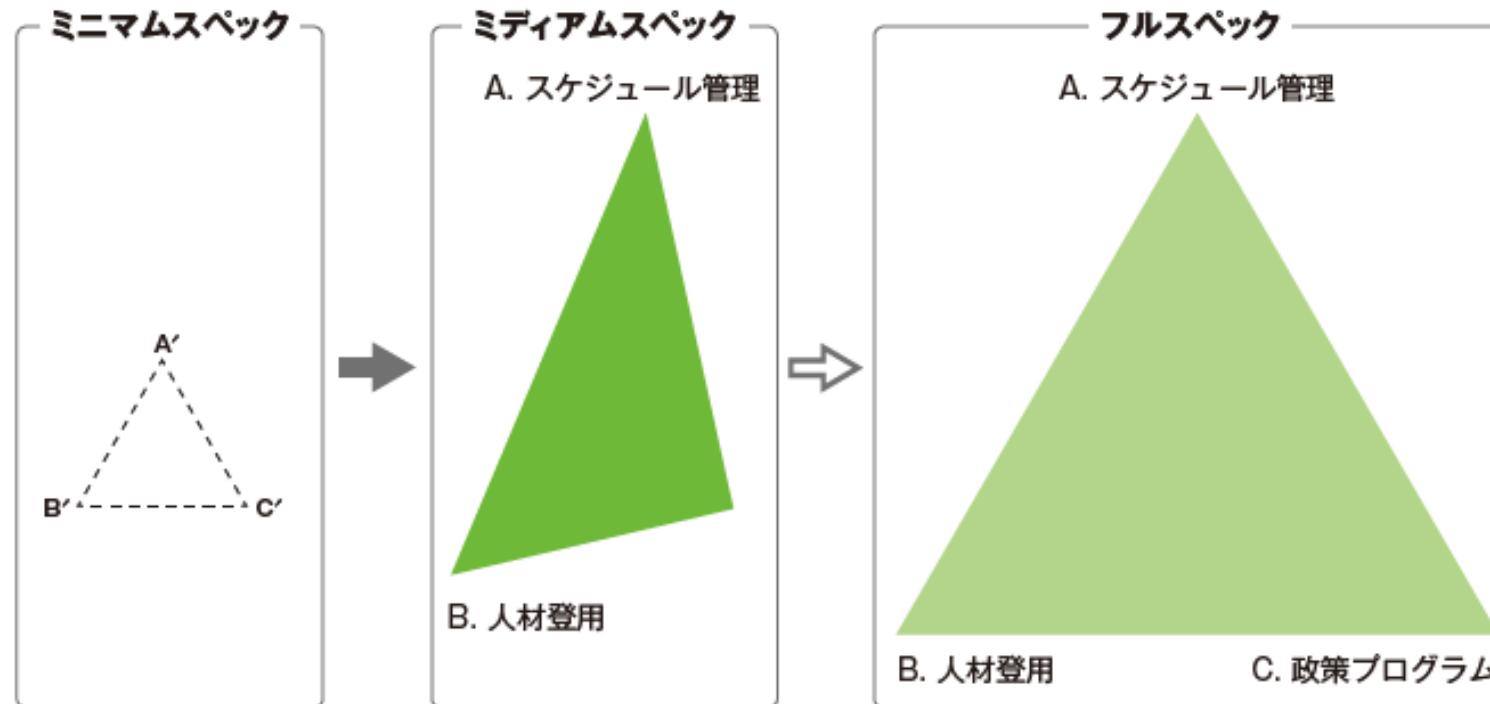


出所：PHP 総研作成

PHP「内閣政治」研究会
『官邸の作り方—政治主導時代の政権運営—研究報告』
政策シンクタンクPHP総研（2024）

ミニマム・ミディアム・フルのスペックとは？

図4 ミニマムスペックからフルスペックへの移行イメージ



出所：PHP 総研作成

PHP「内閣政治」研究会
『官邸の作り方—政治主導時代の政権運営—研究報告』
政策シンクタンクPHP総研（2024）

作動の基本形態を簡潔に要約

官邸の作り方 五則

1. 官邸は一日にしてならず。準備には3カ月以上の時間をかけよ。
2. 政治のすべてのスケジュールを一つにまとめよ。つかさつかさに任せるな。
3. 人材は官邸経験者からまず探せ。総合力あるチームを作れ。
4. 政策プログラムの着手は急ぐな。チーム力あっての政策であることを意識せよ。
5. 総理の器が政権の枠となる。与野党を問わず総理候補者は器を磨け。

3. 制度は動く、流れる

制度は動く、流れる

- ・制度の中、意思決定の流れがある
- ・意思決定の流れをスムーズにするには、制度自体がそれにあわせていく必要がある
- ・こうした制度を「作動」と呼んでみると、誤作動要因を可能な限り除去する制度がある

作動のサイクル・モデル

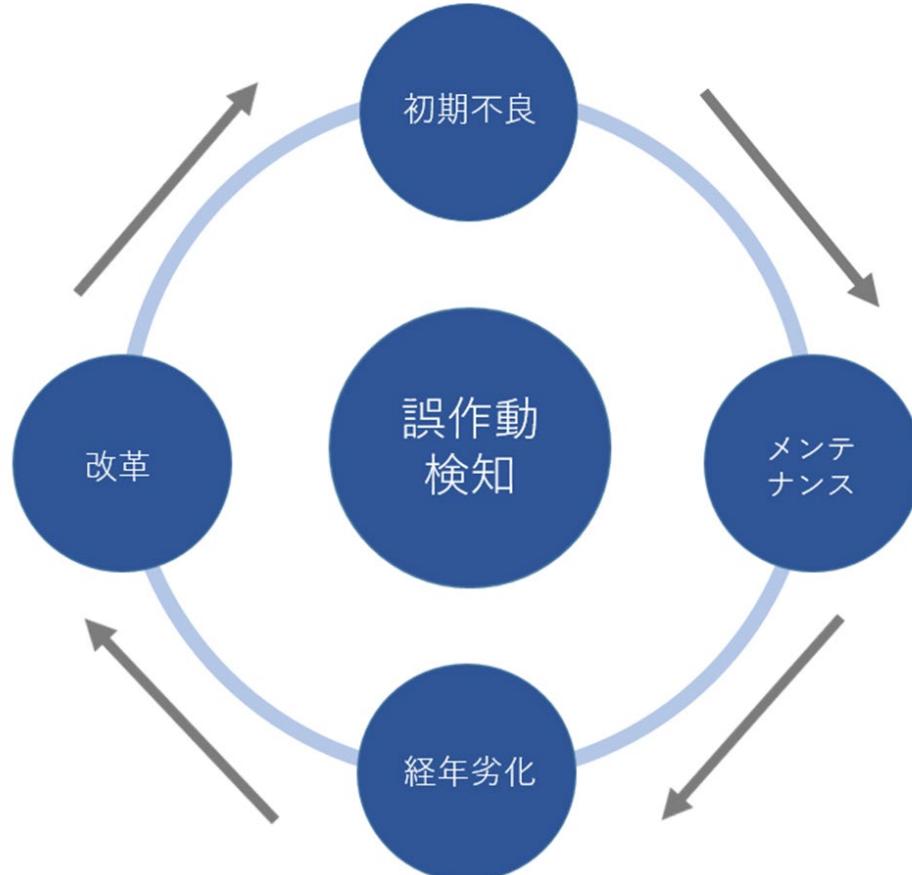
誤作動を組み込んだ制度設計

改革での対応

作動回復の政治化
政治学による客観的分析
行政学の解決方法

メンテナンスでの対応

作動保全へと振り切る
「失敗学」の解決方法



制度連関・制度境界
脆弱部分の管理

内閣と作動・誤作動

- ・作動は長期政権へ
誤作動と短期政権・内閣交代へ
- ・具体例を分析し、その条件を明らかにする際に、オーラル・ヒストリーは決定的に重要
- ・それでは、いかなる条件を満たせば制度は作動し、存続するのか？という一般的な問い合わせられる
- ・流れの「一般作動学」へ

まとめ

オーラル・ヒストリーと制度分析手法の蓄積

- ・決定の流れを検出
- ・決定の構造を透視→制度の全体構造を再構築
- ・作動促進・誤作動防止を事前に織り込んだ制度設計
- ・動く制度の流れの中で制度を設計